

塩谷郡市医師会だより

Contents

- 1 第75回定時総会報告
- 2 第2回理事会報告
- 3 年間行事予定・学術講演会予定表
- 4 第16回市民公開講座報告
- 5 学術講演会報告

一般社団法人 塩谷郡市医師会
広報委員会

〒329-1312

さくら市桜野1319番地3

さくら市氏家保健センター内

TEL 028(682)3518

FAX 028(682)5760

◆塩谷郡市医師会第75回定時総会報告

令和4年4月16日(土)さくら市氏家保健センターで第75回定時総会が開催された。定時総会の前に栃木県医師連盟塩谷郡市支部の総会も開催され、令和3年度決算、令和4年度予算について決議された。

定時総会は定款により選出された池田議長により議事が進められた。医師会員数91名中出席18名、委任状出席42名、計60名の出席で定足数充足が確認されたことにより第75回定時総会の成立が告げられた。

阿久津会長のあいさつの後、佐藤副会長より役員会、総務会、委員会活動などの会務報告があり、その後、議事に入った。



第1号議案「令和3年度塩谷郡市医師会事業報告並びに収支決算の承認を求める件」

第2号議案「令和3年度塩谷郡市医師会貸借対照表及び損益計算書と各附属明細書の承認を求める件」

第3号報告事項「令和4年3月31日現在財産状況の報告について」

第4号報告事項「令和4年度塩谷郡市医師会事業計画並びに収支予算の報告について」

1～4号について説明と報告があり可決承認された。

第5号議案「令和4年度・5年度理事及び監事の承認を求める件」

後藤選挙管理委員長より、立候補者は定数内であり無投票当選とするとの報告があり、挙手多数により理事及び監事が承認された。

第6号議案「会長及び副会長の承認を求める件」

令和4年度第1回理事会の結果、会長(理事長)に阿久津博美先生、副会長(副理事長)に佐藤泉・村井成之先生が選出され、総会で承認された。

第7号議案「栃木県医師会代議員・予備代議員の承認を求める件」

代議員に佐藤泉・村井成之先生、予備代議員に植木雅人・花塚和伸先生が選出され、承認された。

第8号議案 その他

提案・質疑事項なし

◆第2回理事会報告

出席者：阿久津会長、佐藤泉副会長、村井成之副会長、花塚会計担当理事、村井(信)・仲嶋・植木・高橋・手塚・須田理事、中嶋・松村監事

令和4年5月17日(火)午後7時から佐藤副会長の司会により開催された。

(1) 阿久津会長から令和4年度の会長方針および事業計画について説明があった。

・7月予定の納涼会は中止とし、12月予定の医師会ゴルフコンペおよび1月予定の情報交換会は状況を見て判断していく。

・実施事業について、栃木県からの委託・補助事業は取り組まない方針とし、栃木県医師会からの地域保健活動推進協議会事業を進めていくこととした。早急に社会活動委員会を開催し、具体的に進めていくとの説明があった。

(2) 改選に伴い、令和4・5年度の塩谷郡市医師会委員会委員長・委員および医師連盟塩谷郡市支部の役員が決定した。また、栃木県医師会各種委員会委員の候補者推薦(案)も決定した。

(3) その他

役員会の名称変更について

従来、理事と監事の会議を「役員会」としていたが、定款に合わせて、「理事会」と名称を変更した。

塩谷郡市医師会ホームページ/メール	広報委員会編集部
URL http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/ メール shioya@tochigi-med.or.jp	高橋 雄二・中嶋 義明・加藤 健・岡 一雄

塩谷郡市医師会行事予定

令和4年

- 4月16日(土) 第75回定時総会、第1回理事会
医師連盟第21回通常総会
- 4月25日(月) 第1回総務会
- 5月14日(土) 郡市・大学医師会正副会長懇談会
- 5月17日(火) 第2回理事会
- 7月15日(金) 納涼会 **中止**
- 8月23日(火) 第2回総務会
- 9月20日(火) 第3回理事会
(未定) 郡市・大学医師会正副会長懇談会
- 12月4日(日) 第3回塩谷郡市医師会ゴルフコンペ
(実施未定)

令和5年

- 1月13日(金) 情報交換会(実施未定)
- 2月14日(火) 第3回総務会
- 3月7日(火) 第4回理事会
- 4月22日(土) 第5回理事会
第76回定時総会
医師連盟第22回通常総会

学術講演会等予定

令和4年

- 5月10日(火) 慢性腎臓病(Web)
- 6月9日(木) 産業医研修会
- 6月21日(火) 片頭痛(Web)
- 7月12日(火) 糖尿病、脂質異常症(Web)
- 8月3日(水) テーマ未定
- 9月6日(火) 県立がんセンター(Web)
テーマ未定
- 9月13日(火) 脂質異常症
- 10月13日(木) 産業医ケースカンファレンス研修会
- 10月25日(火) アレルギー性疾患
- 11月15日(火) 高血圧症
- 12月13日(火) 消化器関連

令和5年

- 1月17日(火) 主治医研修会(認知症)
- 2月21日(火) 高尿酸血症関連

注: 5月末日時点での予定のため、日程やテーマなどを
変更する場合があります。

◆第16回塩谷郡市医師会市民公開講座報告

収録日: 令和4年2月20日(日) PM1:00~3:00

収録場所: 矢板市 村井胃腸科外科クリニック

さくら市 医師会事務所

高根沢町 阿久津医院

宇都宮市 インターパーク倉持呼吸器内科

方法: Webによる配信を行った。

当日会員へZoom配信を行い、3月1日から
一般市民へYouTubeによる配信を行った。

YouTube視聴回数: 1,452回 6月1日現在



当日は、まん延防止等重点措置により、各会場は関係者のみが参加し、録画撮りを行った。総合司会は「さくら市会場」から佐藤副会長が担当し、阿久津会長は、「高根沢町会場」から挨拶を行った。第一部は、「さくら市会場」から岡一雄先生が「スペインインフルエンザと新型コロナウイルス感染症」と題して講演を行った。1918年~20年の「スペイン風邪」では、塩谷地区の歴史を交えて当時の状況を説明、また、現在の「新型コロナウイルス感染症」と比較するなど、興味深い講演であった。第二部は、「宇都宮会場」から、倉持仁院長による「新型コロナウイルス感染症の現状と対策について」と題して、倉持先生の今までの医療を含む様々な活動について事例を交えて説明があった。また、新型コロナに関する自施設を映像で公開するなど、倉持先生の熱意のある取り組み姿勢を知ることができた。

講演が終了し、村井会計担当理事が「矢板市会場」から講演の感想と閉会の挨拶を行い、第16回塩谷郡市医師会市民公開講座が終了した。今回の市民公開講座は、2市2町の広報誌に掲載された他、下野新聞にも大きな見出しで取り上げていただき反響は大きかった。

学術講演会 I (Web)

「目からウロコ、落とし穴いっぱい CKD 診療!？」

日時: 令和3年6月11日(金)

講師: 竹村内科腎クリニック 副院長 根本 遵 先生

腎専門医のお立場から6つのテーマについてご講演を賜った。1つ目は、腎機能をeGFR(推算糸球体濾過量)

のみで評価することによる見落としについて。eGFRは標準体型を想定した腎機能の評価法であり、あくまでもCKDステージングや患者管理を行うための指標である。標準体型から大きく外れる場合や厳密な調整が必要な薬剤の投与計画にはクレアチニン・クリアランスの方が適切であるとお話であった。

2つ目は、昨今増加しているDKD（糖尿病性腎臓病）診療の問題点について。DM合併高血圧治療にARBなどのRAS阻害薬が重用されているが、その腎保護効果は尿蛋白依存性であり、尿蛋白陰性DKDではRAS阻害薬で腎機能が悪化することもあるため、症例に応じてCCBやSGLT-2の使用も考慮すべきであると述べられる。3つ目は、CKD進行時の電解質異常の管理について。KやMg、タンパク質の管理には注意が必要であるが過度の栄養制限は患者の予後やQOLをそこなう恐れがある。Mg異常にも留意が必要で、Kについては吸着薬の活用も検討すべきのご意見であった。4つ目は、CKDとビタミンDの関係について。腎機能低下症例では活性型ビタミンD投与で高Ca血症、脱水、急性腎不全発症のリスクを伴うことから注意が必要であるとのこと。（ビスフォスフォネートは腎不全で禁忌のものが多く、プラリアやイベニティも投与の際は要検討）5つ目は、尿酸について。尿酸は血液に溶解できる濃度範囲が狭く、抗酸化物質として厳密に濃度が調整されているということ。近代の果糖（ショ糖）摂取の急激な増加で高尿酸血症が生じたが、管理目標の下限は示されず、治療介入による臓器保護効果は極めて限られるというエビデンスをご紹介いただいた。6つ目は、CKDの合併症である腎性貧血について。腎性貧血への治療介入は患者のQOLを改善すること。鉄の利用障害が引き金となるESA抵抗性や鉄欠乏症例に関する注意喚起、そうした課題を解決する可能性のある新規作用機序を有するHIF-PH阻害薬に関する期待でまとめられた。（西 悠）

学術講演会II (Web)

「脂質異常症と心血管疾患」

日時：令和3年7月13日（火）

講師：獨協医科大学日光医療センター

病院長 安 隆則 先生

高LDL-C、低HDL-C、高TGといった脂質異常症は心血管イベントの発症リスクであり、早期介入が重要です。動脈硬化性疾患予防ガイドラインなどにに基づき

LDLに関してはThe lower the better、DM、FH、ACS合併例はLDL<90に管理することなどが求められています。一方、LDL減少治療による心血管イベント抑制効果は3割程度であり、高中性脂肪血症に伴い変動するatherogenicリポタンパクへの介入が重要です。この点でPPARαアゴニストによる心血管イベント抑制作用が期待されており、SPPARMαを用いた臨床試験が進行中です。心血管疾患残余リスクとしての高中性脂肪血症管理について示唆に富むご講演でした。

（仲嶋 秀文）

学術講演会III (Web)

「骨軟部腫瘍を専門とする整形外科の役割」

日時：令和3年9月8日（水）

講師：栃木県立がんセンター

骨軟部腫瘍・整形外科科長 菊田 一貴 先生

骨軟部腫瘍は良性腫瘍が多く、悪性腫瘍は遭遇する機会が希少であり、早期から専門医による診断治療が必要です。希少であるのに多彩な組織型があり、明らかに化学療法の種類が少なく、適切な治療薬を選択するために遺伝子パネル検査が承認されています。また、ゲノム医療の限界を補う新しい科学が必要です。治療には運動器機能維持も重要で、骨転移の早期発見・治療介入によりQOL・ADL・PSの維持と向上を目指しています。希少癌（肉腫）や肝胆膵領域の難治性癌の検体集積を進めるため栃木キャンサーバイオバンクが設立され、研究や業界が連携したエコシステムの構築を目指していることをご紹介いただきました。（仲嶋 秀文）

学術講演会IV (Web)

「糖尿病治療の最新の知見」

日時：令和3年9月14日（火）

講師：国際医療福祉大学塩谷病院

糖尿病・代謝・内分泌内科 副院長 山内 恵史 先生

糖尿病合併症および併存症の発症進展抑止には、厳格な血糖管理だけでなく集学的な管理が必要であり、早期に診断し早期に介入する、そして血糖値を下げるだけでなく低血糖を防ぎ代謝の改善やホメオスターシスの回復を図ることが重要であるとお示しいただきました。また、糖尿病治療薬についての知識を整理し、ガイドラインやアルゴリズムを利用することの重要性をお話しいただきました。塩谷病院では糖尿病教育入院クリティカルパスとして3泊4日の短期パスを用いており、早期介入に役立てていることをご紹介いただきました。（仲嶋 秀文）

御挨拶

なかじまクリニック 中嶋 義明 (矢板市)

矢板市木幡に開業し、今年8月でちょうど10年になります。整形外科を専門として始めましたが、今では内科系(高血圧症、高脂血症、糖尿病等)も診れる範囲で診療を行っております。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が流行している中、2021年東京オリンピック・パラリンピックも無事に終わり、1月中旬より第6波が押し寄せ、今でも終息しきれておりません。今度は第7波の流行の懸念がある現状で日々診療にあたっております。

当院においても感染予防に努め、地域社会と連携しながら感染拡大防止にあたります。

これからも当院の発展ならびに地域医療の貢献に努めて参りますので、みなさま方からの御指導ならびに御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

神々の息遣いを感じる塩谷町

植木医院 植木雅人 (塩谷町)

数年前になるだろうか、あるご老人が塩谷町には地球上に初めて降り立った十二神の神々を祀った神社があることを教えてくれた。そしてその近くには祭祀を執り行ったであろうストーンサークルもあるという。

また、北には高天原が語源という説もある霊山高原山がそびえていて、全国名水百選に数えられる尚仁沢(精進沢)湧水群がある。太古の昔、修行僧たちは山から湧き出る水で体を清め、神々しい山々の中に入り人々の健康や平和を願って修行に励んでいたのではないだろうか。

町ではウォーキングが盛んだ。尚仁沢を歩きながら太古の人々と同じように神々の恵みとエネルギーを感じてほしい。

非日常生活

かとう眼科 加藤 健 (さくら市)

いつまでコロナ禍? コロナとの付き合いも3年目になり、すっかり new normal な生活も定着。一方で、4月下旬現在、感染者数は未だ下げ止まったまま、先行きは見通せず。 医師会活動も会議は行わ

れているものの、忘年会などの親睦会は全て中止。交流の場もすっかり無くなり寂しい日常です。

欧米諸国と比べ感染対策の違いが浮き彫りになってきており、この先どうなっていくのでしょうか??さて、今回医師会だよりの最終ページを担当することとなり、久しぶりに文章を書いております。改めて文字を連ねると、普段使っていなかった頭を使い、より深く考え、思考力が鍛えられます。たまには良いかな!?この場を通じての情報発信、近況報告等、新たな交流の場となれば幸いです。

高根沢医師団の近況

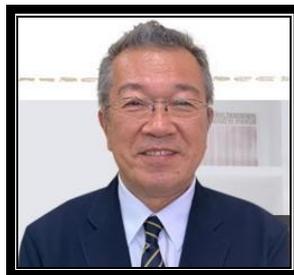
たかはし眼科 高橋雄二 (高根沢町)

高根沢町は宇都宮に隣接しており、町民は生活圏も医療圏も宇都宮と認識している方が多いようです。高根沢町医師団の医師は町外に住み選挙権がない方が半数です。以前には関係の深い宇都宮市医師会と合流する意見もありました。将来の市町合併を当てにして宇都宮市眼科医会に合流するつもりで開業した医師もいます。塩谷郡市医師会の一員として積極的に医師会活動に参加する会員は少ない傾向でした。しかしながら昨今のコロナ禍にあっては改めて医師会の恩恵を知ることとなりました。またこの度阿久津博美団長が医師会会長に選出されました。町医師団からは初めての事です。改めて高根沢町医師団広報として医師会活動に参加を呼び掛けていく所存です。よろしく申し上げます。

「会員投稿」のテーマは自由です。多くの先生方の投稿を心よりお待ち申し上げます。

(テーマは自由、字数は300字)

尾形新一郎会長ご逝去



令和2年4月会長に就任し、塩谷・南那須PCR検査センターの設置など新型コロナウイルス対策の陣頭指揮を執った。

プライベートでは塩谷町の塩谷ウォーク、100kmウォーク大会の設立や

自ら重機を操作して山を切り開きキャンプ場を作るなど、故郷の自然を愛し盛り上げることに邁進した。

令和3年10月17日ご逝去、享年67歳。

謹んで、心よりご冥福をお祈りいたします。